

令和3年度 剣野小学校の教育



教育目標 いきいき遊び いきいき学ぶ子

目指す子ども像 気づき、考え、実行する子ども

学 年 の 目 標	1 年 生	①きらきら えがお ②ほうけん いっぱい みんな なかよし きぼう学年	4 年 生	いかす! のばす! なおす!
	2 年 生	You can do it! Do your best! 大好きいっぱい みらい学年	5 年 生	友情でひまわりの花を さかせようを ～個性を生かして 一人一人を大切に～
	3 年 生	1人ひとり 大切な なかま ～はじめ を つけよう!!～ ～だれとでも かかわろう!!～ ～1日が楽しくなるあいさつを!!～	6 年 生	チャンス チャレンジ チェンジ



剣野小学校PRキャラクター
「みまもりけんのすけ」

道 徳 特別支援 人権教育 同和教育	【道徳教育の推進】	【特別支援教育の推進】	【人権教育、同和教育の推進】
	○自己や他者、社会にとってよりよい判断ができる児童を育成する。 ○学校教育のあらゆる機会をとらえて、豊かな心を育てる道徳教育を充実する。 ○1時間毎の「特別の教科 道徳」の授業を工夫し、心に響く授業を目指して授業改善を行う。	○どの児童も学びやすい教室環境を整え、年間をととして「授業のユニバーサルデザイン化」の視点に基づいた授業づくりを行う。 ○校内委員会を中心に全教職員の共通理解を図り、児童や保護者の困り感に寄り添う校内支援体制を整備する。	○協力的・参加的・体験的な学習をととして、自他を大切に行動できるようにする。 ○学校いじめ防止基本法を基に、いじめや差別を見抜き、それを許さないという意識を高め、認め合い支え合う人間関係を育む。 ○教職員自らが正しい認識を身に付け、人権感覚を磨きながら児童や保護者と関わる。

確かな学び

豊かな心

健やかな体

目指す姿	学ぶ意欲に満ちた子ども	励まし合い、認め合う子ども	健康づくりに励む子ども
学校の取組 ◎指導方針 2つ ○実践事項 2つ	◎自分で考え、その考えを表現する学習活動の実践 ○意欲的に取り組めるような課題提示を工夫します。 ○一人一人が自分の考えを深められるような学びの場を工夫します。 ◎学習習慣の定着 ○自ら選択して課題に取り組めるような自主学習を推奨します。 ○スタディプランを活用し、家庭と協力して家庭学習の習慣化を図ります。	◎活動をととしたコミュニケーションの重視 ○異学年による「あおぞら班活動」の充実を図ります。 ○年間を通じて学校・地域での「あいさつ運動」を推進します。 ◎思いやりの心もち、互いに認め合い、高め合う子どもの育成 ○道徳の時間の充実を図ります。 ○人間関係づくりのスキルトレーニングを実践します。	◎よりよい健康生活の充実 ○スタディプラン・生活習慣改善強調週間を通して、生活習慣の改善に努めます。 ○保健指導と食育指導の充実を図ります。 ◎「体を動かすことが楽しい」という実感の重視 ○めあての設定や学習カードを工夫し、成果を実感できるように体育授業の充実を図ります。 ○授業や体育イベントの中で、運動に親しむ子どもの姿を目指します。
評価規準	①「意欲的に取り組めるような課題提示・考えを深める授業の工夫」をした職員の割合 ②「スタディプランを活用し、家庭学習の時間の目安を守っている」児童の割合 【①②ともに80%以上】	①「学校・地域で進んで挨拶をしている」と感じている児童の割合 ②「友達の良さやがんばりを認め合い、仲良くしている」と感じている児童の割合 【①85%以上 ②90%以上】	①自分の生活習慣の課題が分かり、改善に努めた児童の割合 ②めあてをもって運動に取り組み、体を動かすことが楽しいと実感している児童の割合 【①②ともに80%以上】

柏崎市学校教育活動推進事業

地域の特色を生かし、家庭・地域とともに歩む学校づくり

小中一貫
教育

第三中学校区が目指す子ども像

「学ぶ意欲」「やさしい心」「たくましい体」をもつ子ども

学びをつなぐ（知育）

「意欲的に学び、粘り強く課題解決に取り組む子ども」

心をつなぐ（徳育）

「やさしい心もち、互いに認め合い、高め合う子ども」

たくましさをつなぐ（体育）

「心身ともにたくましく、明るく元気に活動する子ども」